

別記第7-1号様式(第15条関係)

令和元年度電源立地地域対策交付金事業評価報告書

令和2年3月26日

北海道知事 鈴木直道 殿

住 所 芦別市北1条東1丁目3番地
氏 名 芦別市
芦別市長 荻原 貢

平成2年3月4日付け環エネ第1679号指令をもって交付の決定の通知を受けた電源立地地域対策交付金に係る交付金事業の成果の
評価について、北海道電源立地地域対策交付金等交付要綱第15条第3項の規定により別紙のとおり報告します。

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	芦別市立保育園運営事業	芦別市	13,294,000	13,294,000	総事業費 16,525,645円

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	地域活性化措置	芦別市立保育園運営事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		芦別市					
交付金事業実施場所		芦別市本町					
交付金事業の概要	<p>保育所における児童への充実した保育サービスを実施することにより、地域住民の仕事と子育ての両立を支援し、女性の結婚、出産後の社会進出を促進するため、本交付金を保育士の人件費に活用しています（保育士9人の人件費7か月分）</p>						
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第5次芦別市総合計画（平成22年度～令和元年度） 4 保健・医療・福祉の基本目標「健康にみちあふれ、生活を支えあうぬくもりのまち」 (2) 福祉 ④ 多様な子育て支援の充実 当市では、保育所における児童への充実した保育サービスの実施と待機児童数0人を目指し、また、義務教育終了前（国は就学前）の子どもが3人以上いる世帯において、3人目以降の保育料を無料化するとともに、平成28年4月からは保育料を一律30%軽減して、保護者負担の軽減を図っています。 しかしながら、当市の厳しい財政状況においては、保護者負担の軽減を実施するに当たっての財政負担に毎年苦慮している状況にあります。 地域住民の仕事と子育ての両立を支援し、女性の結婚、出産後の社会進出を促進するため、本交付金を保育士の人件費に活用することで、財政負担が軽減されることにより、地域住民の福祉の向上を図ります。 目標：待機児童数 0人（令和元年度）</p>						
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度				
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度			
	待機児童数 0人	待機児童数 (人)	成果実績	人	0		
			目標値	人	0		
			達成度	%	100.0%		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後、早期に評価を実施するため						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
<p>本交付金の活用により、保育士人件費（9人・7か月分）を確保することができました。 次年度も充実した保育サービスを実施することにより、地域住民の仕事と子育ての両立を支援し、女性の結婚、出産後の社会進出を促進することにより、志願者数を確保し、定員数の維持に努めます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	雇用量（充当月×充当人数）	活動実績	人月	55	53	57	
		活動見込	人月	55	54	57	
		達成度	%	100.0%	98.1%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考		
総事業費		16,160,500	14,934,900	16,525,645			
交付金充当額		16,160,500	14,698,900	16,525,645			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		13,168,000	12,916,000	13,294,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方	契約金額		
保育士人件費		雇用		保育士9人	16,525,645		
交付金事業の担当課室		児童課つばさ保育園					
交付金事業の評価課室		児童課つばさ保育園					